Creative Enzymes®

豚由来カルボキシペプチダーゼB、組換え

Cat. No. NATE-1147

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カルボキシペプチダーゼB（またはペプチジル-L-リジン（-L-アルギニン）ヒドロラーゼ）は、ポリペプチドのC末端位置から基本アミノ酸であるリジン、アルギニン、オルニチンの加水分解を触媒します。これは34 kDaの単一ポリペプチドであることが示されています。トリプシンは、天然酵素を活性酵素であるカルボキシペプチダーゼB IIにin vitroで□換することができます。最適pHは9.0であることがわかっています。この酵素は、C末端の基本アミノ酸の連続的な切断による配列解析に使用される場合があります。また、急性膵炎の診断のための血清マーカーとしても使用できます。
別名	カルボキシペプチダーゼB; プロタミナーゼ; CPB1; 膵臓カルボキシペプチダーゼB; 組織カルボキシペプチダーゼB; ペプチジル-L-リジン [L-アルギニン]ヒドロラーゼ; EC 3.4.17.2; 9025-24-5

製品情報

由来	豚の
外□	白い粉末、凍結乾燥された
***EC*番号**	EC 3.4.17.2
分子量	About 35kDa (SDS-PAGE detection)
純度	>90%（SDS-PAGEテスト）
活性	>180U/mg
緩衝液	20mM NaAc, pH3.5
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 7.65の条件下で1.0 μmoleのHip-L-Argを1分あたり触媒します。

保管・発送情報

保存方法	20%グリセロールに再溶解し、4°Cで保存、長期保存のために-20°Cで保管し、複数回の凍結-解凍サイクルを避けてください。